

平成 29 年度 第3回消防力強化のための勉強会の概要

日 時:平成29年8月8日(火) 午後4時～5時20分

場 所:大阪府庁災害対策本部会議室

《主な意見(順不同)》

(○消防本部・市町村の発言、→事務局の応答)

◆消防広域化に係る検討調査について

- 時間短縮効果の図について。道路ネットワークについて、「国道・府道のみで市道を含まず現場到達時間を算出した」となっているが、市道を含めば大きく結果が変わる可能性がある。市民がみると、実態とは違う形で認識されてしまう懸念があると思うが、いかがか。
- 一定の線引きが必要ということで、13.5m以上の市道は含み、それ以外は、5.5m以上13.5m未満は、路線の長い国道・府道を対象にするというフィルタをかけさせていただいた。
- フィルタのかけ方は理解している。山間部の到着が遅れるのは理解できるが、市街地部分では道路の取り方で、市道を含まないために到着時間が遅れている部分がある。
- 検討させてほしい。(※第3回勉強会で意見の踏まえ、道路幅員5.5m以上13.5m未満の道路で、算定上顕著な影響のある市道は再現することとした。)

◆消防力強化について

- 水平連携強化の提案についてだが、本市は小規模消防本部であるため、職員に余裕がない状況である。この方向で進むとなれば、派遣等の人員確保の点で困難になってくるため、もう少し検討してほしい。
- 小規模本部からの人員派遣の問題は伺っている。それぞれの消防本部の事情もあるので、検討させていただきたい。
- いろいろメニューはあるが、全てが必須だとは思っていない。各本部のニーズがあって検討するものであり、27本部全てが一緒にスタートするというものでもない。
- 市長会・町村長会での説明は、これまでの経過報告ということか。何か特別に説明する予定があるのであれば、教えてほしい。
- 今回の資料は、消防力について、どの首長もご理解いただいているところを視覚化したもの。また広域化については、その必要性について、もう一度、認識していただきたいと考えている。単独消防では苦しい、一緒になりたいという所はあるので、どこまでの議論になるかはわからないが、首長の皆さんが「もう一度広域化を考えるべき」という雰囲気になっていただくと我々としてはありがたい。水平連携については、すぐにでも出来る項目もあるため、首長から具体化について検討するようにということになれば、ワンステップ進んで検討したいと思っている。ただ、次回の市長会・町村長会で絶対に決めてもらうというものではない。首長からいろいろな意見が出てくると思うので、その意をくみとって、今後の勉強会のあり方、検討の方向性を決めていきたい。
- 広域化については、過去にブロックで検討会を実施し、既に議論は終わっている。資料も過去の検討と類似しており、前回の検討と違うのは、1本部体制だけである。過去のデータを最新版にしたという理解でよいか。今回は、それに水平連携を付け加えたということか。

- 過去の検討時点からの人口減少化、高齢化、消防学校の統合や国の動き等も踏まえ、いま一度、広域化、連携・協力の必要性を再認識してもらおうというものである。
- 勉強会に参加していない消防本部に説明の上、市長会・町村長会で説明させていただく。